


「地区診断」のための関連データ ～区中央部～

データを用いた構想区域ごとの「地区診断」

10月10日に行われた国の医療政策研修会において、産業医科大・松田教授より地域医療構想関連データを用いた構想区域ごとの**地区診断【今後何が各地域の問題になりうるのか】**の講義があった

「地区診断」の視点

- **少子高齢化の進行**によって、**地域の医療介護ニーズの変化**が生じている。
しかも、その内容は地域によって異なる。
- **2040年までに起こる主な環境変化として、少子高齢化のさらなる進行**
複合ニーズをもった高齢患者の増加、財政面・人的資源面で支える現役世代の減少
- さらに高齢化が進む地域社会においては、
 - ・ 急性期医療は相変わらず重要であり続ける。しかし、**典型的な急性期の症例**
(初発のがん、急性心筋梗塞、初発の脳梗塞など) **は減少**
 - ・ **急性期の現場は、慢性期から繰り返し発生する急性期イベント** (肺炎、骨折、心不全、尿路感染症、再発脳梗塞など) **への対応が必要**

 「地区診断」では関連データ【SCR（医療提供状況の地域差）、DPC、病床機能報告】を用いて、構想区域ごとに、地域の医療資源の提供状況の分析を行っている

DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」

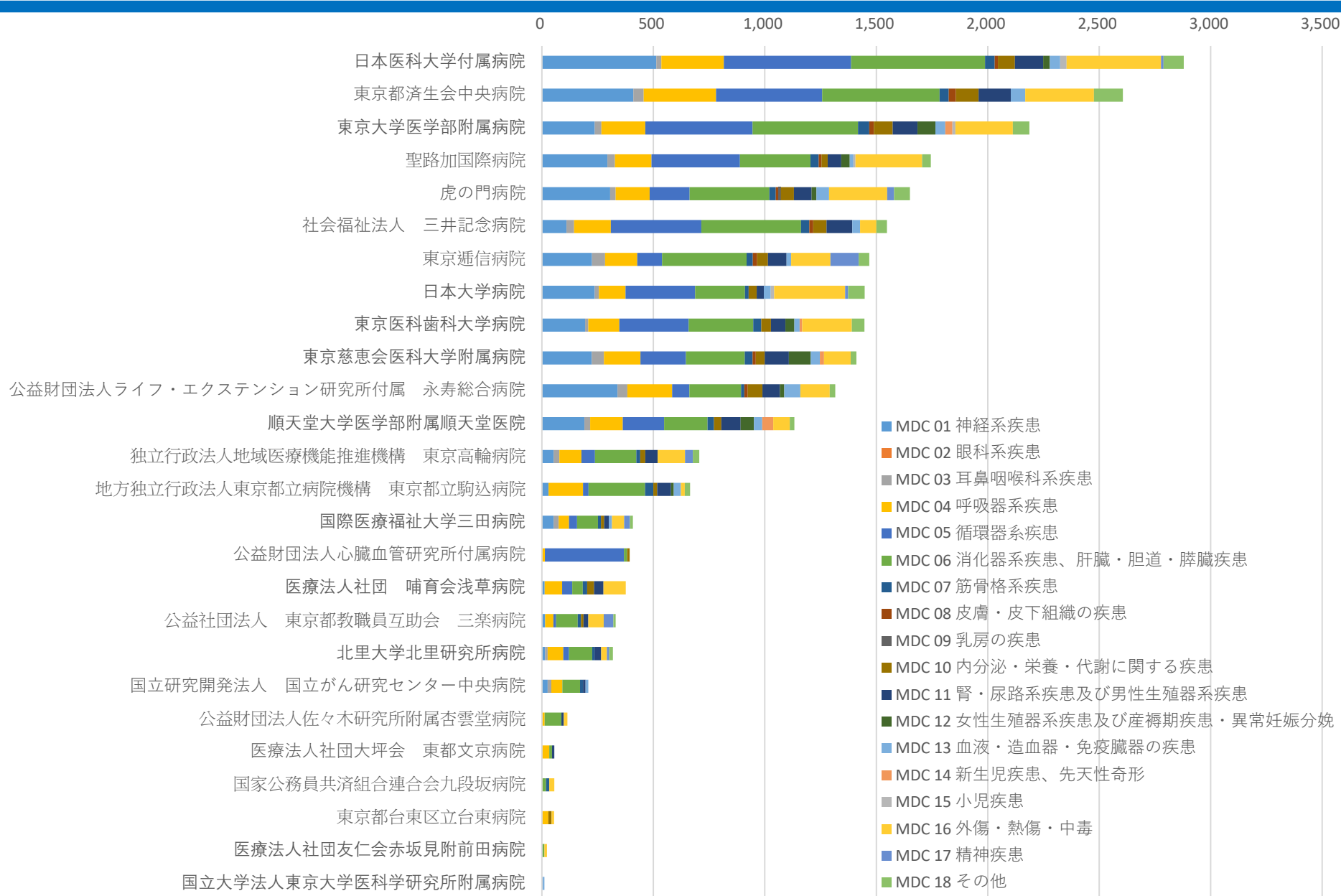
DPC対象病院等の退院患者について、MDC（主要診断群）別患者構成や救急搬送、手術件数等について集計したもの。

今回都ではDPCデータに着目し、オープンデータから構想区域別のデータを作成

今回の活用の視点

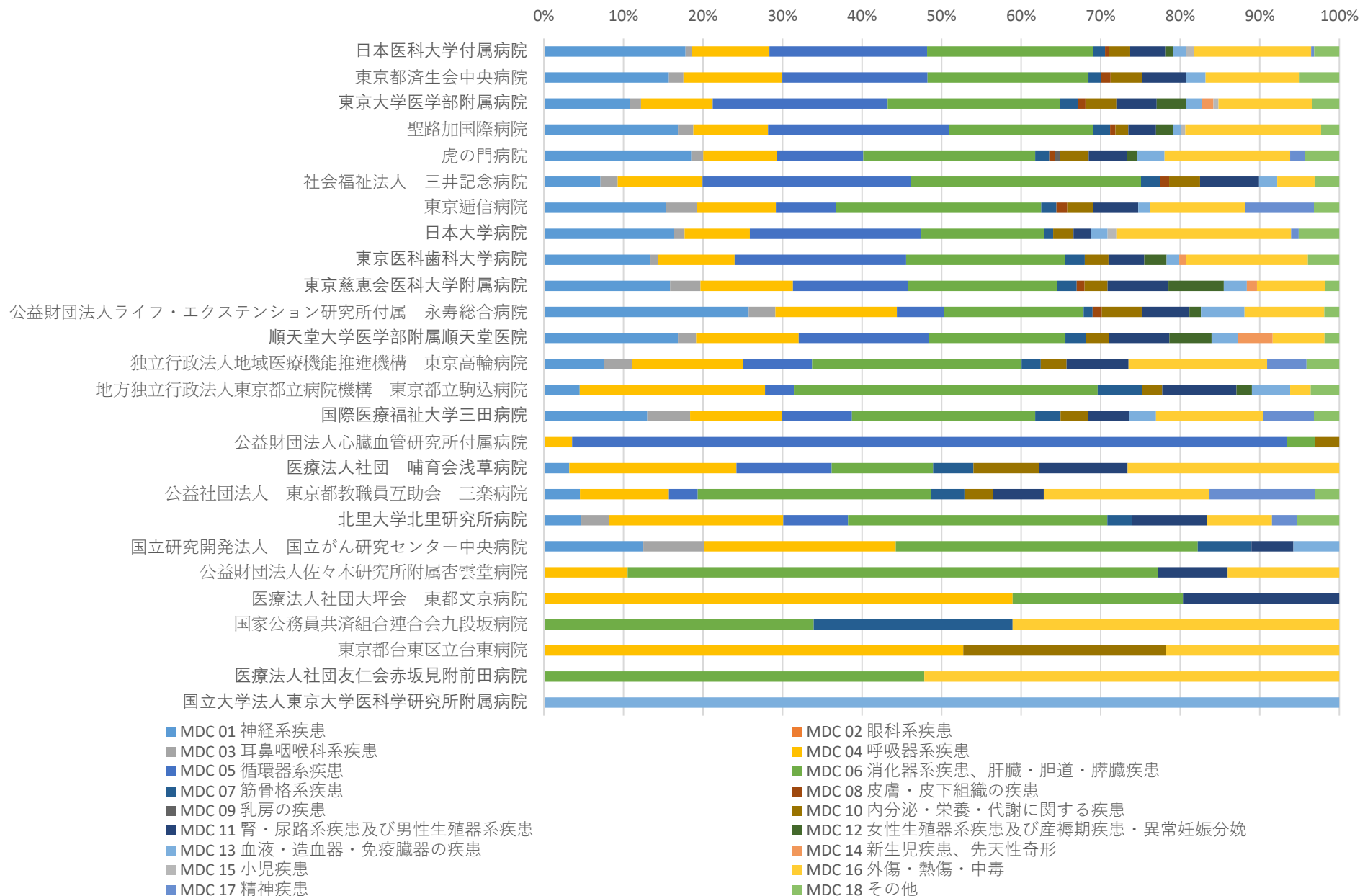
- 急性期入院医療に関する各医療機関の機能の状況の把握
- 慢性期から繰り返し発生する急性期イベントの例（肺炎、骨折、心不全、尿路感染症、再発脳梗塞など）として、高齢者に多い疾患の各医療機関の受入状況の把握

DPC導入病院の入院患者数（救急車による搬送）

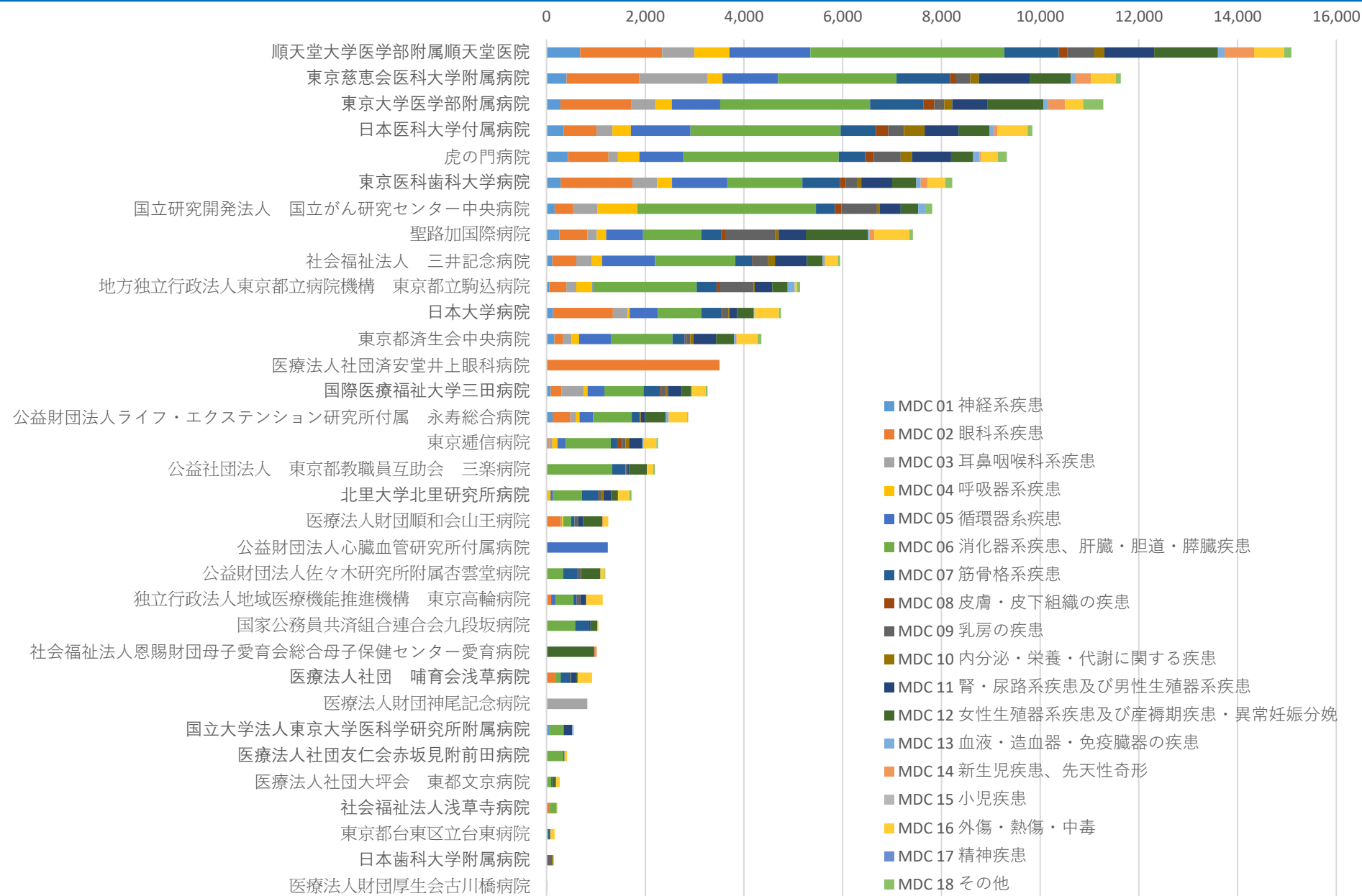


DPC導入病院の入院患者数（救急車による搬送）

MDC別患者割合

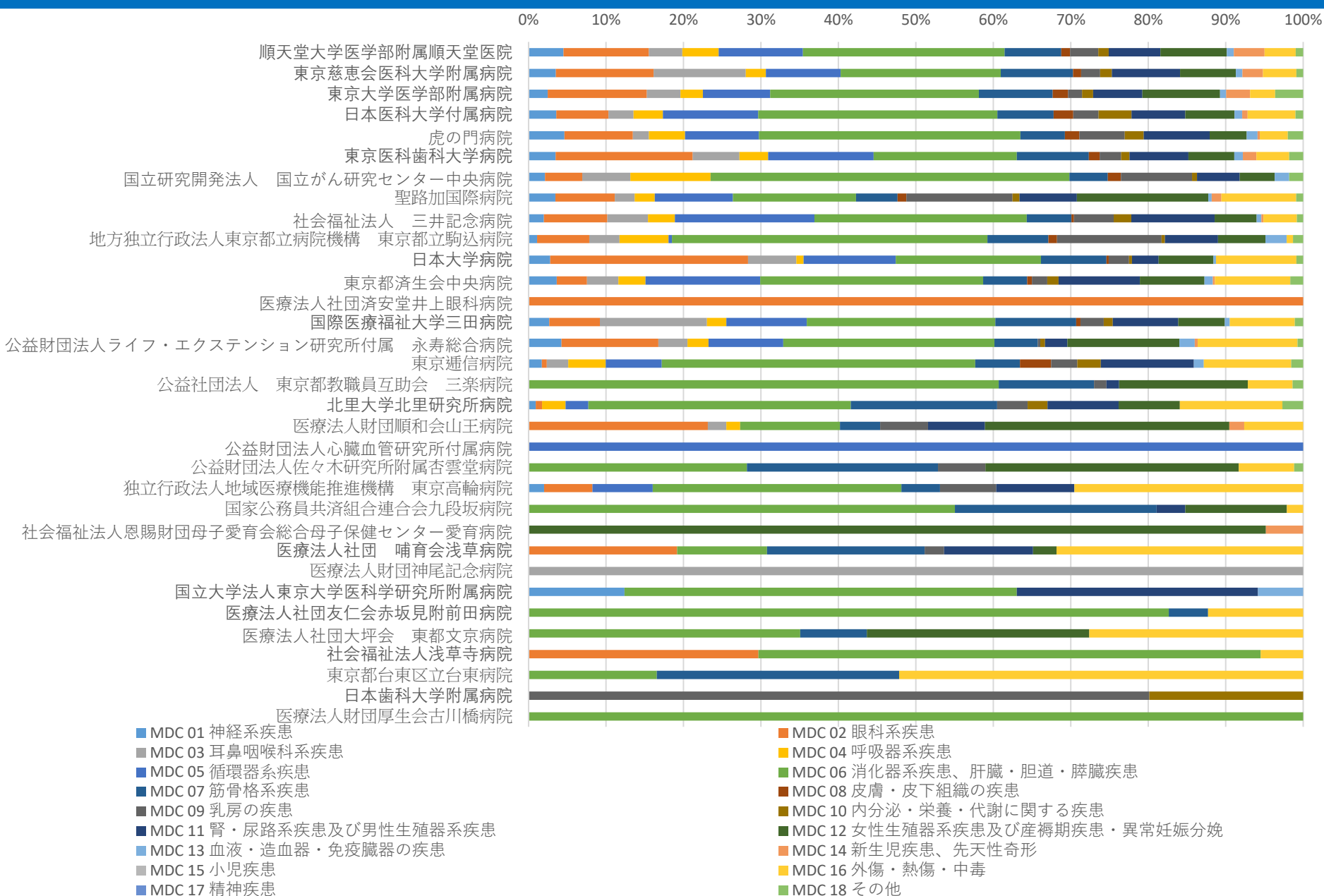


DPC導入病院の入院患者数（手術有り）



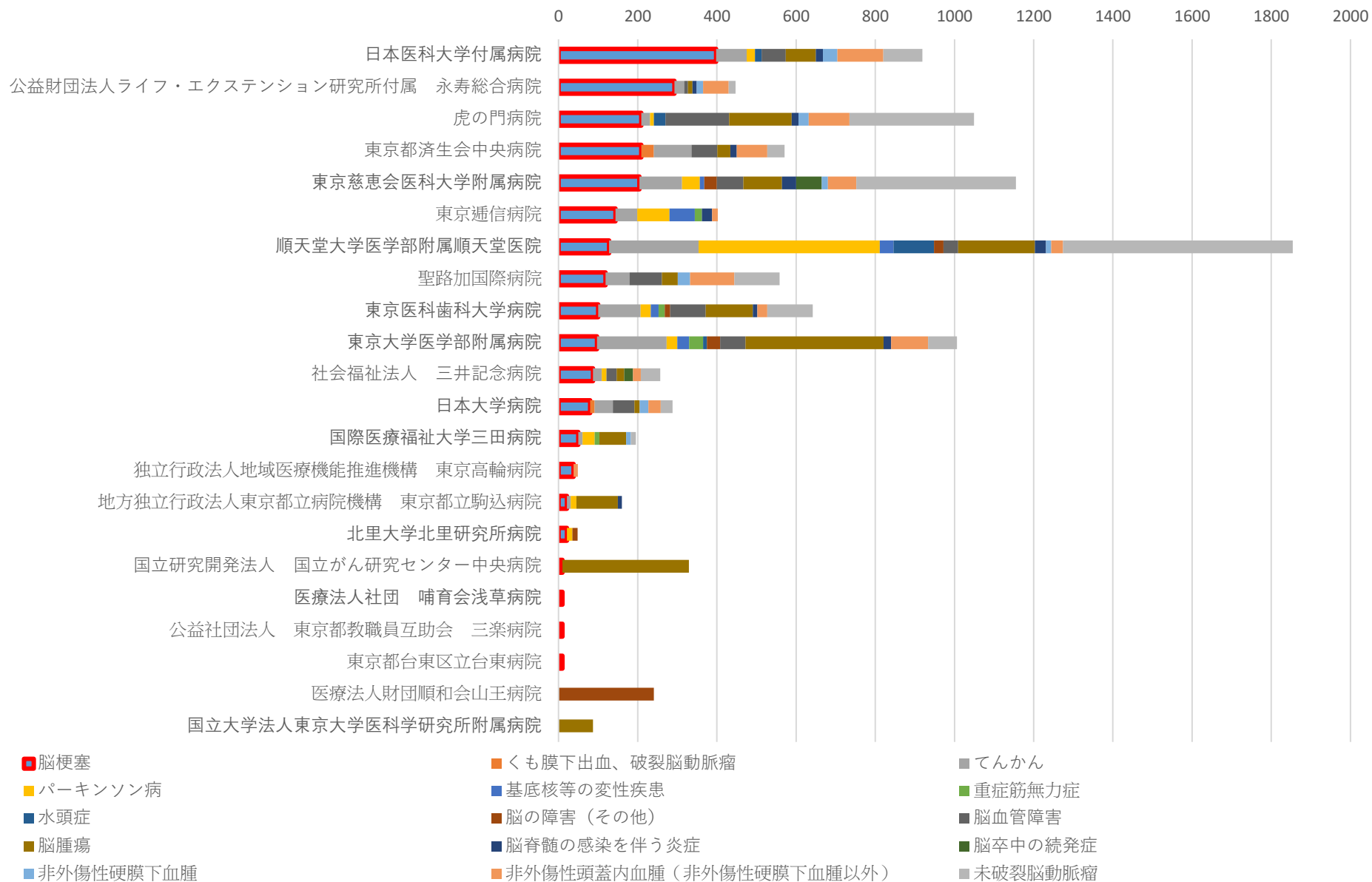
DPC導入病院の入院患者数（手術有り）

MDC別患者割合



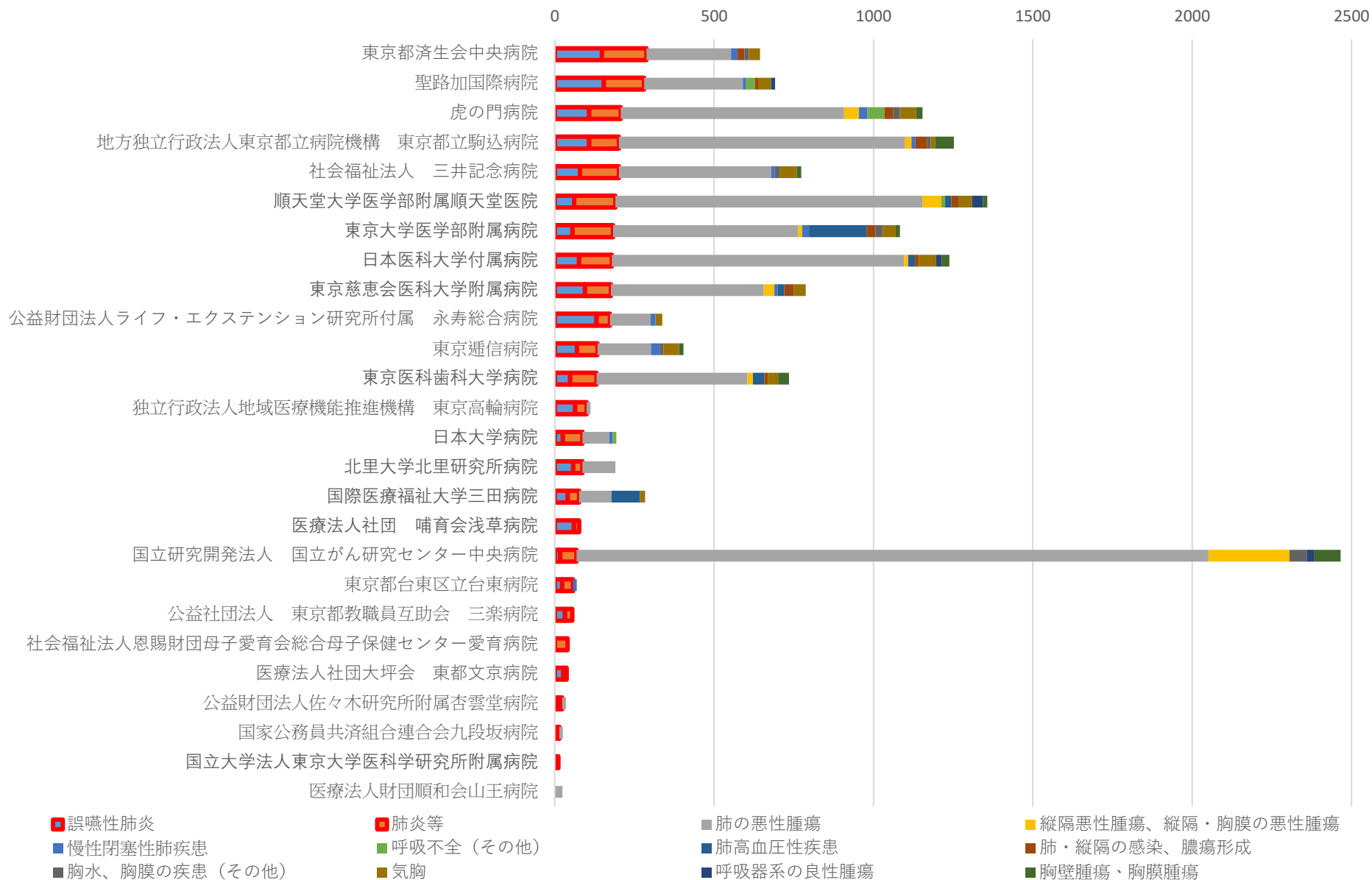
※令和4年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」参考資料2（2）MDC別医療機関別件数（割合）より作成

MDC01（神経系疾患）のうち「脳梗塞」の入院患者数



※令和4年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」参考資料2（8）疾患別手術別集計 MDC01より作成
※10月10日の講義で説明された慢性期から繰り返し発生する急性期の高齢者に多い疾患として「脳梗塞」を赤枠囲み

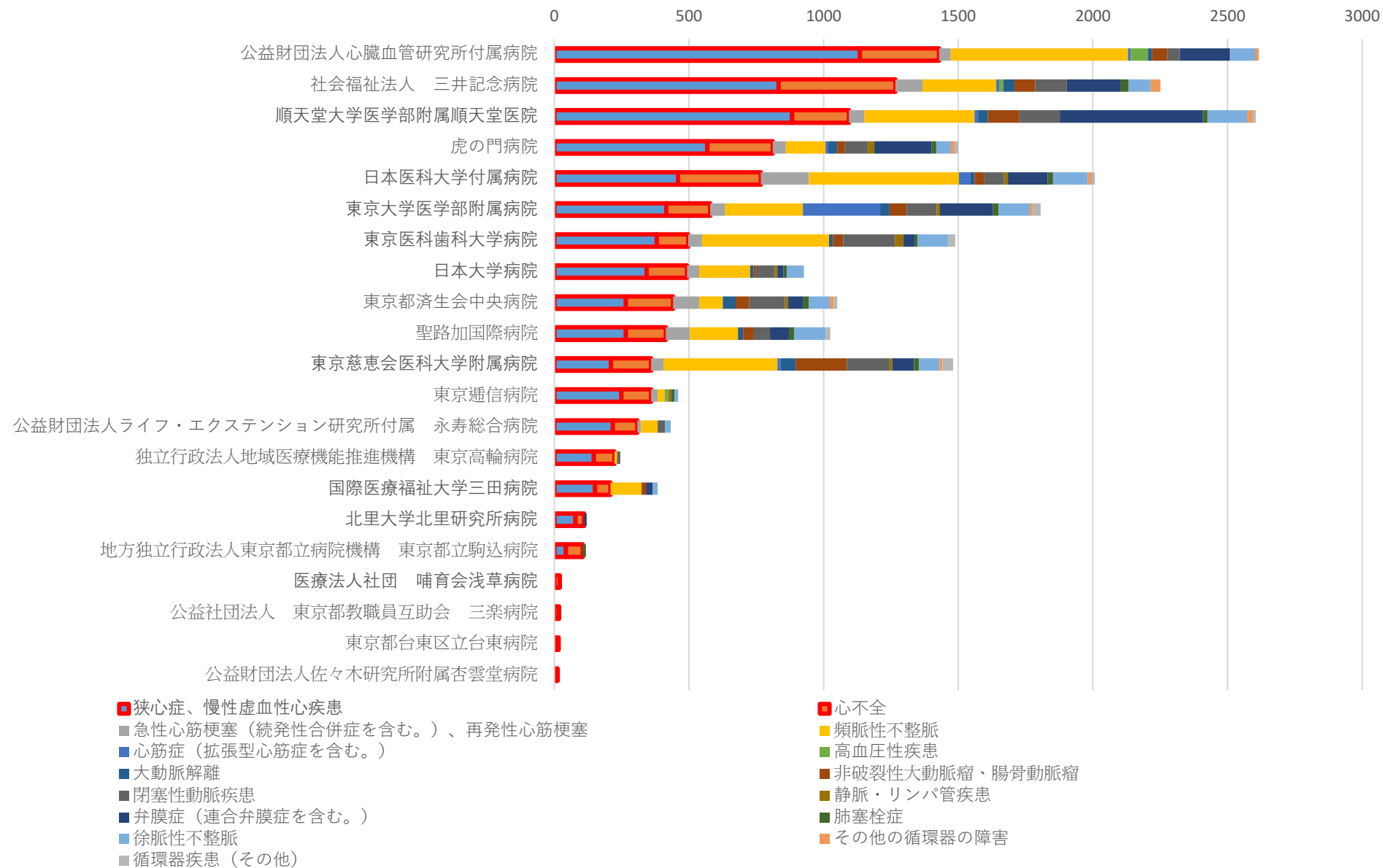
MDC04（呼吸器系疾患）のうち「誤嚥性肺炎」「肺炎等」の入院患者数



※令和4年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」参考資料2（8）疾患別手術別集計 MDC04より作成

※10月10日の講義で説明された慢性期から繰り返し発生する急性期の高齢者に多い疾患として「誤嚥性肺炎」「肺炎等」を赤枠囲み

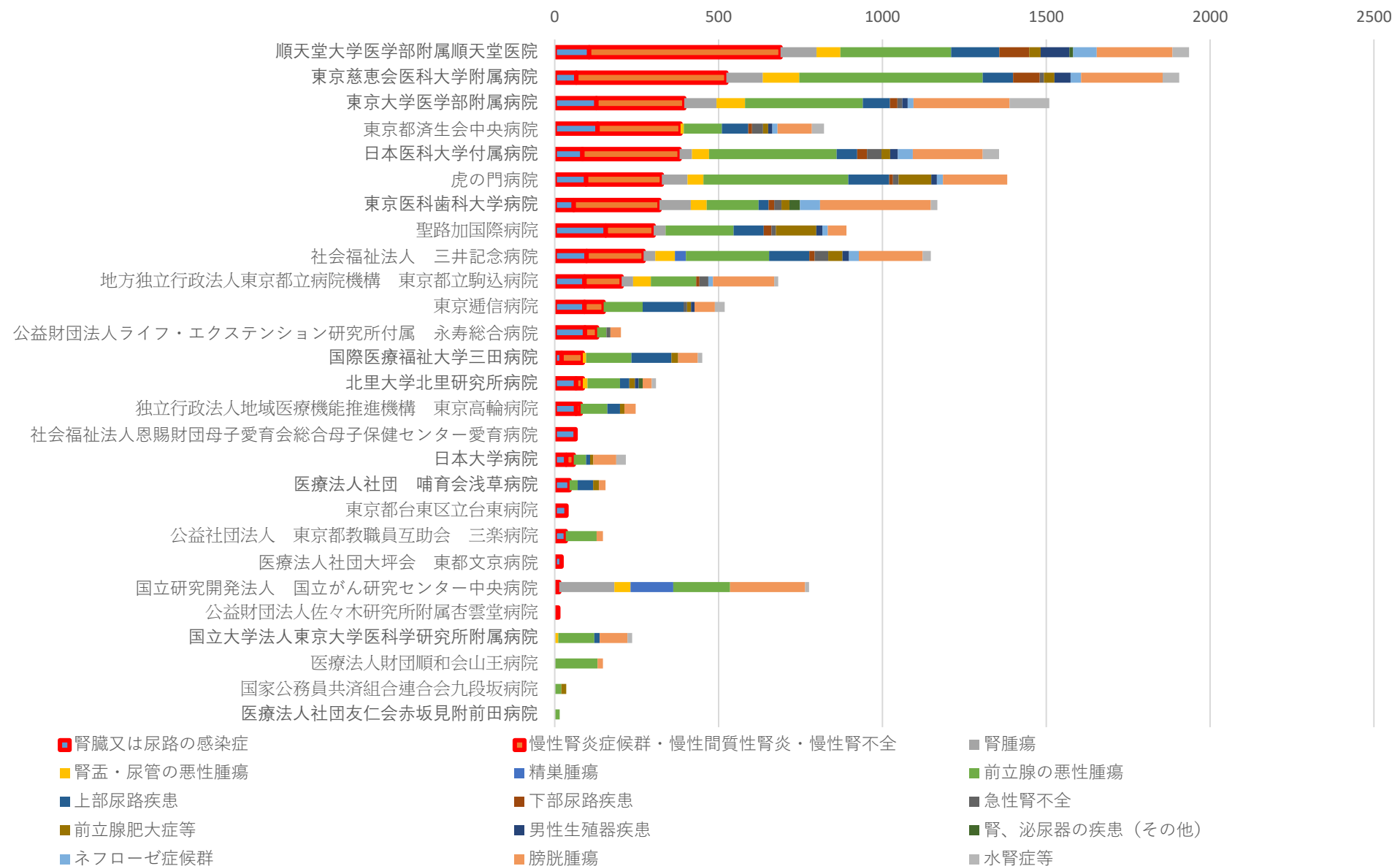
MDC05（循環器系疾患）のうち「狭心症、慢性虚血性心疾患」「心不全」の入院患者数



※令和4年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」参考資料2（8）疾患別手術別集計 MDC05より作成

※ 10月10日の講義で説明された慢性期から繰り返し発生する急性期の高齢者に多い疾患として「狭心症、慢性虚血性心疾患」「心不全」を赤枠囲み

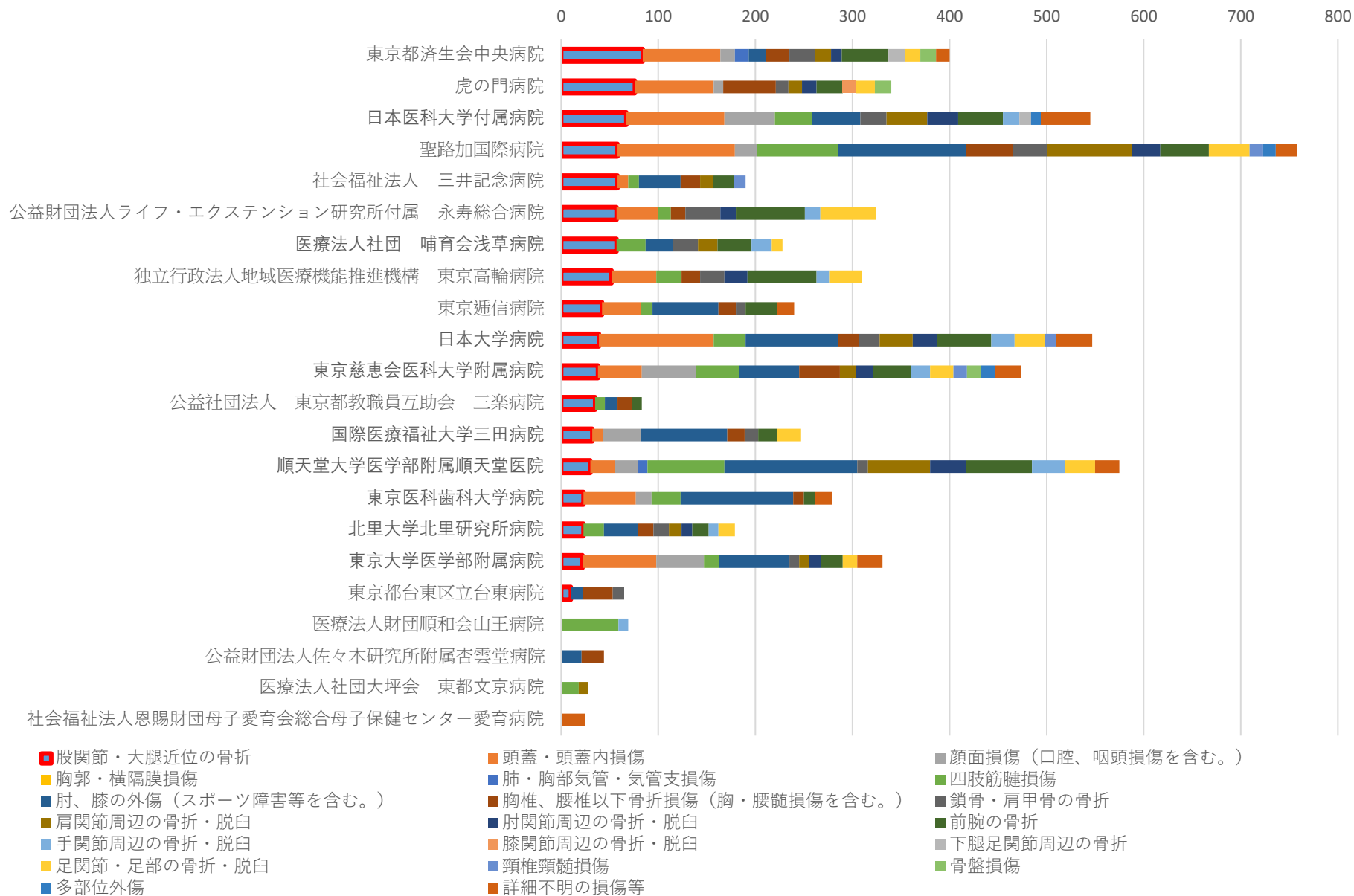
MDC11（腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患）のうち「腎臓又は尿路の感染症」「慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全」の入院患者数



※令和4年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」参考資料2（8）疾患別手術別集計 MDC11より作成

※ 10月10日の講義で説明された慢性期から繰り返し発生する急性期の高齢者に多い疾患として「腎臓又は尿路の感染症」「慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全」を赤枠囲み

MDC16（外傷・熱傷・中毒）のうち「股関節・大腿近位の骨折」の入院患者数



※令和4年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」参考資料2（8）疾患別手術別集計 MDC16より作成

※ 10月10日の講義で説明された慢性期から繰り返し発生する急性期の高齢者に多い疾患として「股関節・大腿近位の骨折」を赤枠囲み